

# 沖縄市のアスファルト 合材工場が完成・稼働

大成ロテックら

大成ロテックと七和（那

覇市、伊志嶺匡社長）が沖縄県沖縄市で建設してきたアスファルト合材工場「美ら島アスコン」が完成、稼働した。大成ロテックの旧沖縄合材工場を全面リニューアルした。

脱炭素を含む環境への配慮をコンセプトに、高効率



機器の採用と稼働効率化を旨とする省エネ型アスファルトプラント設計を採用。合材製造の燃料をA重油からカーボンオフセットLPGに転換し、中温化（低炭素）合材製造装置の導入やグリーン電力への転換、事務所

の省エネ建築などに取り組んでいる。大成ロテック沖縄合材工場を全面リニューアルした。  
10月29日に現地で開いた開所式には、両社や自治体などの関係者ら48人が出席し完成を祝った。火入れの儀では大成ロテックの加賀田健司社長、七和の伊志嶺社長、美ら島アスコンの小川裕之工場長、沖縄市議会の瑞慶山良一郎議長、一般社団法人沖縄しまたて協会の金城博専務理事がスイツ

チを押しプラントに点火した。

加賀田社長は「新工場名の『美ら島アスコン』には、インフラ整備のみならず環境的側面にも配慮し、沖縄という美しい島を後世に残していきたいという気持ち

が込められている。かねてより工事部門で共同企業体を組成している七和と製品部門でも協力して、これまでに以上に沖縄のまちづくりに貢献し、より質の高い製品とサービスを提供していきたい」と述べた。

